

リモートI/O R7K4F シリーズ		
取扱説明書	Modbus / TCP (Ethernet) 用、リレー接点 16 点出力、ねじ端子台	形式
	少点数入出力ユニット	R7K4FE-6-DC16

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・接点出力ユニット1 台
- ・壁取付用スライダ2 個

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は測定カテゴリ II (出力、過渡電圧：2500 V)、汚染度 2 での使用に適合しています。また、本器の出力-電源間の絶縁クラスは基本絶縁 (250 V) です。設置に先立ち、本器の絶縁クラスがご使用の要求を満足していることを確認して下さい。
- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・高度 2000 m 以下でご使用下さい。
- ・適切な空間・沿面距離を確保して下さい。適切な配線がされていない場合、本器の CE 適合が無効になる恐れがあります。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・許容電圧範囲、消費電流
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC ± 10 %、約 130 mA

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および出力信号を遮断して下さい。
- ・端子台を取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および出力信号を遮断して下さい。
- ・本器のスイッチ類は、通電時に操作しないで下さい。スイッチによる設定変更は、電源が遮断された状態で行って下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

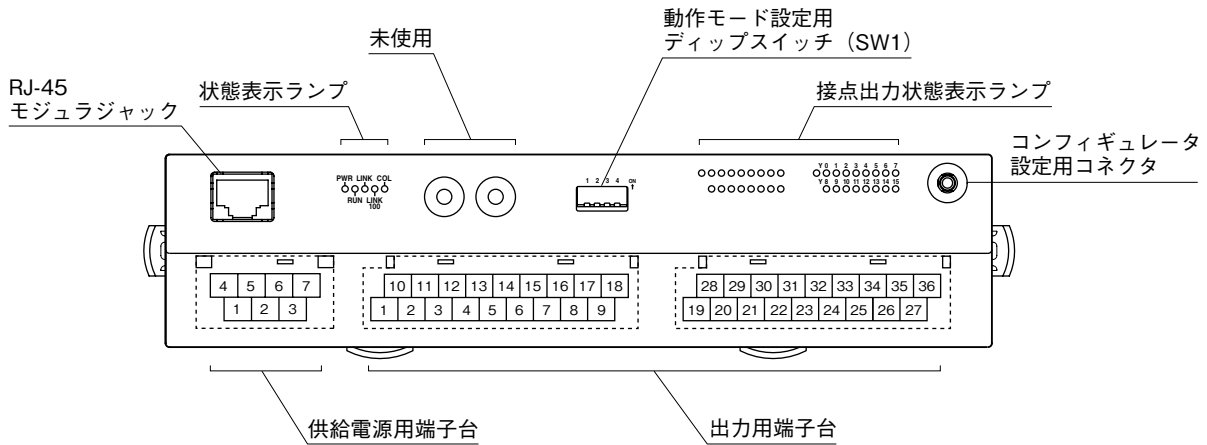
●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。
- ・感電防止のため、必ず端子カバーを閉じて下さい。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

各部の名称



■状態表示ランプ

ランプ名	表示色	動作
PWR	緑色	内部電源正常時点灯
RUN	緑色	正常通信時点灯
LINK	緑色	LINK 時点灯
LINK100	緑色	100 Mbps 接続時点灯* ¹
COL	緑色	コリジョン時点滅

* 1、100BASE 接続時に使用します。
10BASE 接続時には点灯しません。

■動作モード設定

●通信断時出力設定 (SW1-4)

SW1-4	通信断時出力
OFF	出力クリア(出力 OFF)
ON	出力保持(前回正常受信データを保持)(*)

(*) は工場出荷時の設定

注) SW1-1 ~ 3 は未使用のため、必ず“OFF” にして下さい。

■接点出力状態表示ランプ

各出力の状態をランプ (緑色) で表示します。

ON : 点灯

OFF : 消灯

■電源端子配列

4	5	6	7
NC	NC	+24V	0V
1	2	3	
NC	NC	FE	

- ①NC —
- ②NC —
- ③FE 機能接地
- ④NC —
- ⑤NC —
- ⑥+24V 供給電源 (24V DC)
- ⑦0V 供給電源 (0V)

■出力端子配列

10	11	12	13	14	15	16	17	18
+24V	Y0	Y1	Y2	Y3	Y4	Y5	Y6	Y7
1	2	3	4	5	6	7	8	9
OV	COM0	COM1	COM2	COM3	COM4	COM5	COM6	COM7

28	29	30	31	32	33	34	35	36
+24V	Y8	Y9	Y10	Y11	Y12	Y13	Y14	Y15
19	20	21	22	23	24	25	26	27
OV	COM8	COM9	COM10	COM11	COM12	COM13	COM14	COM15

端子番号	信号名	機能	端子番号	信号名	機能
1	0V	0V	10	+24V	24V DC
2	COM0	出力コモン 0	11	Y0	出力 0
3	COM1	出力コモン 1	12	Y1	出力 1
4	COM2	出力コモン 2	13	Y2	出力 2
5	COM3	出力コモン 3	14	Y3	出力 3
6	COM4	出力コモン 4	15	Y4	出力 4
7	COM5	出力コモン 5	16	Y5	出力 5
8	COM6	出力コモン 6	17	Y6	出力 6
9	COM7	出力コモン 7	18	Y7	出力 7

端子番号	信号名	機能	端子番号	信号名	機能
19	0V	0V	28	+24V	24V DC
20	COM8	出力コモン 8	29	Y8	出力 8
21	COM9	出力コモン 9	30	Y9	出力 9
22	COM10	出力コモン 10	31	Y10	出力 10
23	COM11	出力コモン 11	32	Y11	出力 11
24	COM12	出力コモン 12	33	Y12	出力 12
25	COM13	出力コモン 13	34	Y13	出力 13
26	COM14	出力コモン 14	35	Y14	出力 14
27	COM15	出力コモン 15	36	Y15	出力 15

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。

コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CFG）の使用方法については、R7CFGの取扱説明書をご覧ください。

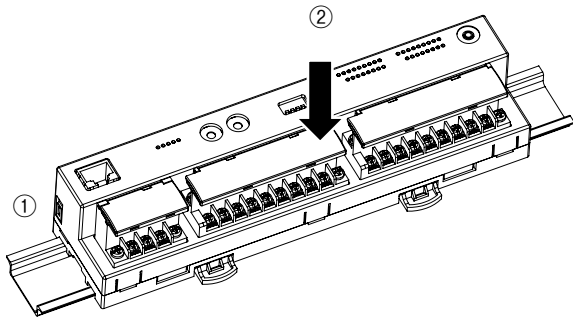
項目	設定範囲	初期値
IPアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	192.168.0.1
サブネットマスク	0.0.0.0～255.255.255.255	255.255.255.0
リンガータイム	0～32767 (0.1 秒)	1800 (0.1 秒)
タイムアウト	0～32767 (0.1 秒)	30 (0.1 秒)

取付方法

■DIN レール取付

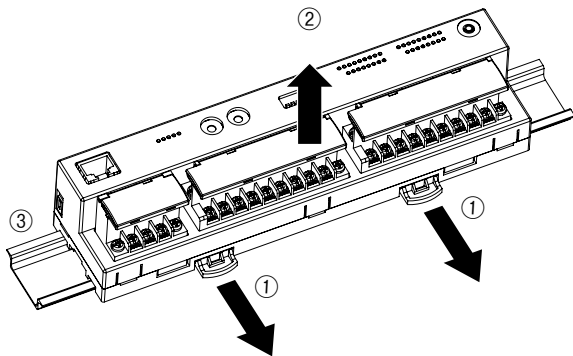
・取付の場合

- ① 本体背面の上側フックを DIN レールに掛けます。
- ② 本体下側を押込みます。



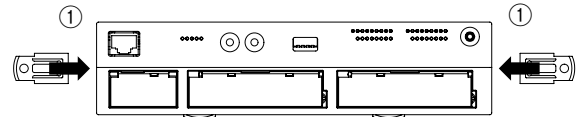
・取外の場合

- ① マイナスドライバーなどでスライダを下に押し下げます。
- ② 手前に引いて本体下側を取外します。
- ③ 本体上側を DIN レールから取外します。

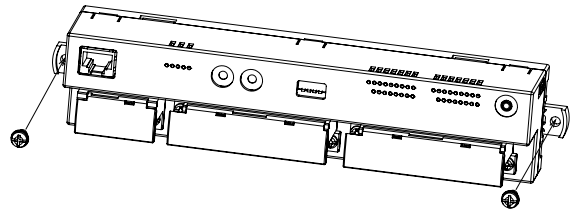


■壁取付

- ① 下図のように付属の2つのスライダを本体背面のレールに合うようにセットし、1回カチッと音がするまで挿入して下さい。



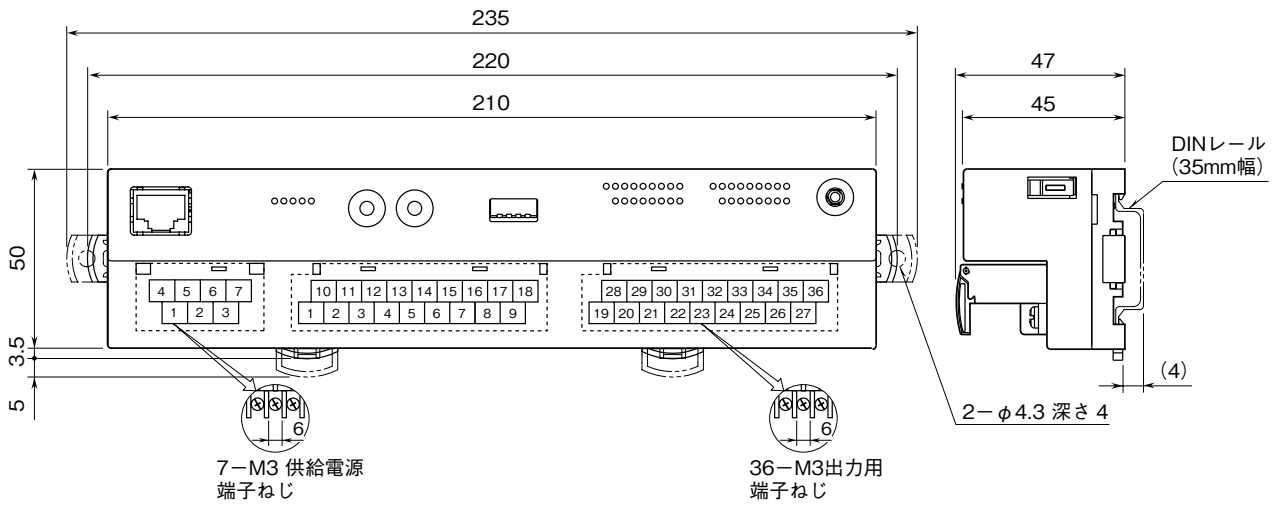
- ② 取付寸法図を参考に、M4 ねじで取付けて下さい。
(締付トルク：1.4 N・m)



接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

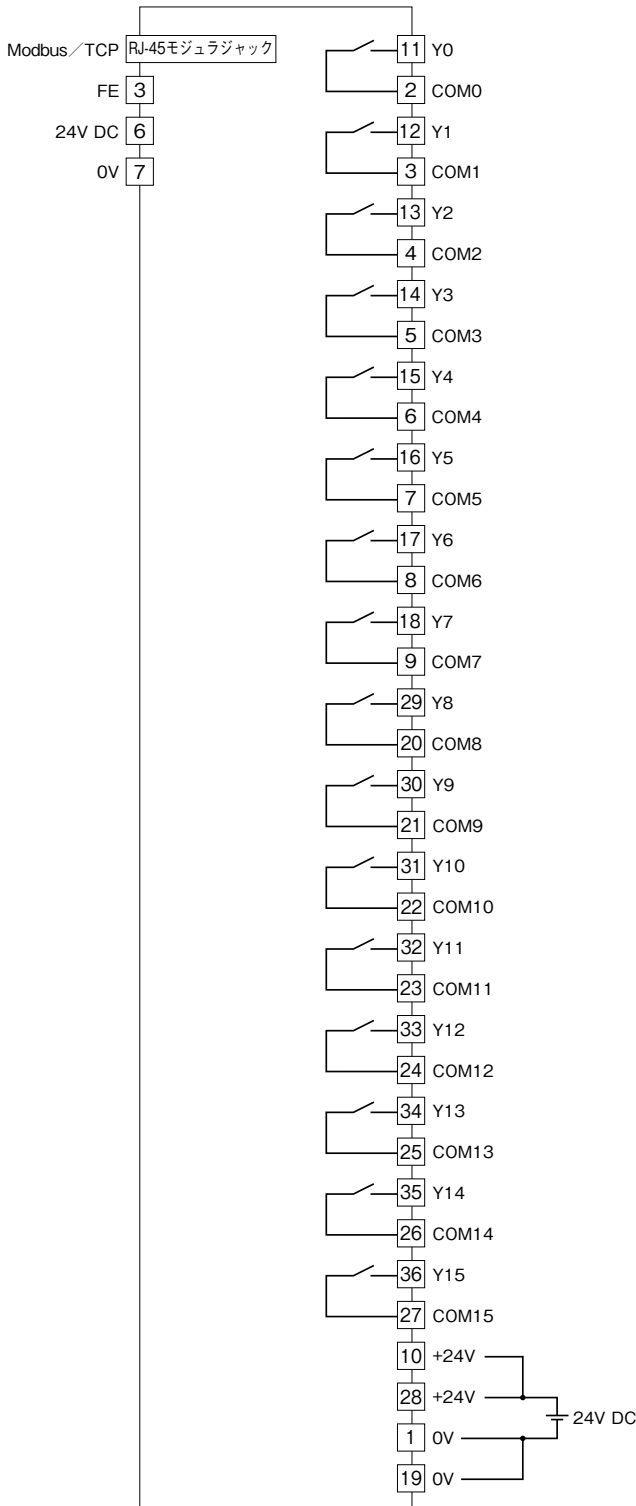
外形寸法図 (単位 : mm)



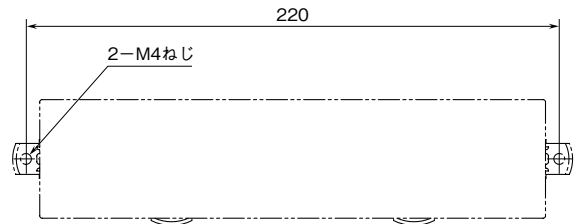
端子接続図

EMC（電磁両立性）性能維持のため、FE 端子を接地して下さい。

注）FE 端子は保護接地端子（Protective Conductor Terminal）ではありません。



取付寸法図 (単位：mm)



配線

■ 締付トルク

2 ピース端子台配線用ねじ：0.5 N・m

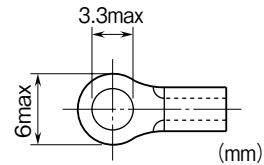
2 ピース端子台固定用ねじ：0.5 N・m

■ 圧着端子

圧着端子は、M3 用の下図の寸法範囲のものを使用して下さい。また、Y 形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。

推奨圧着端子：適用電線 0.25 ~ 1.65 mm² (AWG22 ~ 16)

推奨メーカ 日本圧着端子製造、ニチフ



■ 2 ピース端子台の取外方法

本器の端子台は着脱可能な 2 ピース構造となっており、端子台固定用ねじを均等に緩めることにより、端子台を取外すことが可能です。

Ethernet の接続確認

■IP アドレスの設定

R7K4FE は BootP テーブルソフトウェアをサポートしていません。コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CFG）を用いて設定します。

Modbus / TCP のポート番号は “502” と決められています。

■配線

パソコンなどと配線をします。

■表示の確認

配線が正常な場合には状態表示ランプの LINK が点灯します。また、100 Mbps 接続時には LINK100 が点灯します。

■R7K4FE の接続確認

Windows の MS-DOS プロンプトから ping コマンドにて接続を確認します。

```
C : ¥WINDOWS > ping ***.***.***.***  
(***.***.***.*** は IP アドレスを 10 進数で入力します)
```

```
ping ***.***.***.*** with 32 bytes of data :  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64
```

```
Ping statistics for ***.***.***.***  
Packets : Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0 % loss)
```

正常に接続する場合は、ping コマンドに対し上記のような返答があります。
IP アドレスが異なる場合など正常に接続できない場合にはタイムオーバなどの返答となります。

■アプリケーションとの接続

確認 1：リンク

データの送受信にかかわらず、PC や PLC、ハブ等と正常に接続することにより状態表示ランプの LINK、LINK100（100 Mbps 接続時）が点灯します。これらが点灯していない場合には、ハブの電源などを確認して下さい。

確認 2：RUN 表示ランプ

アプリケーションと正常に送受信を行うと RUN 表示ランプが緑色に点灯します。

Modbus ファンクションコード

■Data and Control Functions

CODE	NAME		
01	Read Coil Status	○	Digital output from the slave (read/write)
02	Read Input Status		Status of digital inputs to the slave (read only)
03	Read Holding Registers		General purpose register within the slave (read/write)
04	Read Input Registers		Collected data from the field by the slave (read only)
05	Force Single Coil	○	Digital output from the slave (read/write)
06	Preset Single Register		General purpose register within the slave (read/write)
07	Read Exception Status		
08	Diagnostics	○	
09	Program 484		
10	Poll 484		
11	Fetch Comm. Event Counter	○	Fetch a status word and an event counter
12	Fetch Comm. Event Log	○	A status word, an event counter, a message count and a field of event bytes
13	Program Controller		
14	Poll Controller		
15	Force Multiple Coils	○	Digital output from the slave (read/write)
16	Preset Multiple Registers		General purpose register within the slave (read/write)
17	Report Slave ID	○	Slave type/ 'RUN' status
18	Program 884/M84		
19	Reset Comm. Link		
20	Read General Reference		
21	Write General Reference		
22	Mask Write 4X Register		
23	Read/Write 4X Registers		
24	Read FIFO Queue		

■Exception Codes

CODE	NAME		
01	Illegal Function	○	Function code is not allowable for the slave
02	Illegal Data Address	○	Address is not available within the slave
03	Illegal Data Value	○	Data is not valid for the function
04	Slave Device Failure		
05	Acknowledge		
06	Slave Device Busy		
07	Negative Acknowledge		
08	Memory Parity Error		

■Diagnostic Subfunctions

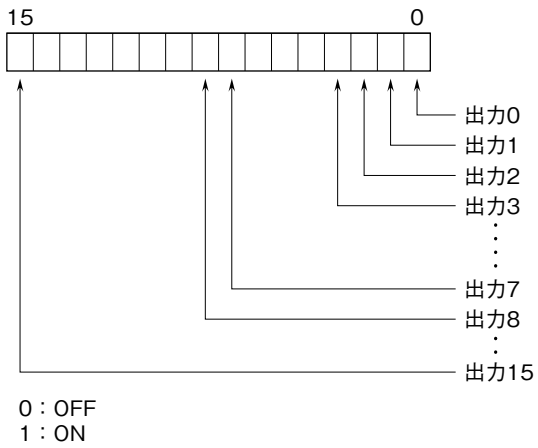
CODE	NAME		
00	Return Query Data	○	Loop back test
01	Restart Comm. Option		
02	Return Diagnostic Register		
03	Change Input Delimiter Character		
04	Force Slave to Listen Only Mode		

Modbus I / O 割付

	ADDRESS	DATA TYPE	DATA
Coil (0X)	1 ~ 16		Digital Output

ビット配置

■接点出力



保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。